

主催 公益社団法人 全日本病院協会

急性期病院看護管理者研修

シラバス

研修概要

研修の目的

急性期病院の看護管理者に求められる能力を8つの領域に分類し、eラーニングによる講義、課題研究、オンライン演習を通じて体系的に修得する。各講義に理解度確認テストを設け、学習成果を担保する。

研修の構成

- ・講義（eラーニング） 163時間10分（全231講義／各講義に理解度確認テスト）
 - ・課題研究 8時間（想定学習時間 2時間×4課題）
 - ・オンライン演習 16時間（中間・期末の2回、各8時間）
- ※ 施設基準が求める「180時間以上」を満たします。

修了要件

- ・すべての講義および理解度確認テストの受講・完了
- ・4課題の課題研究レポートを提出し、成績評価でB以上（60点以上）
- ・課題研究を提出するとともに、各演習回に全て出席すること

成績評価基準

評価	基準	点数
S	目標は十分に達成されている	80～100点
A	目標は達成されている	70～79点
B	目標は一応達成されているが努力を要する	60～69点
C	目標が達成されていない	59点以下

※ B以上（60点以上）を合格とします。

施設基準が求める4領域との対応

施設基準の4領域	本研修の対応単元（能力領域）
①病院組織管理	経営・経済管理能力／組織管理・運営能力
②医療の質の確保・医療安全	安全管理能力
③多職種連携・人的資源の活用	円滑な人間関係を構築する能力／働きやすい職場をつくる能力／人的資源の育成と活用する能力
④医療DXを含む業務の効率化	組織管理・運営能力

シラバス

1. 病院視点での総論

到達目標：急性期病院を取り巻く社会変化を理解し、自院の現状と課題を分析した上で、持続可能な医療提供体制の構築に向けた部署・組織レベルでの取り組みを提案・実践できる

No	講義（eラーニングで提供）	時間
1	最新の医療動向	62分
2	新たな地域医療構想	59分

病院視点での総論 小計：2講義／2時間1分

2. 円滑な人間関係を構築する能力

③多職種連携・人的資源の活用に該当

到達目標：関係する個人・集団を問わず多様な関係者の特性を理解し、自院における関係性の課題を分析した上で、信頼関係構築に向けた具体的な関わりや調整策を提案・実践できる。

No	講義（eラーニングで提供）	時間
3	他者から信頼を得る姿勢と行動（共通）	34分

No	講義（eラーニングで提供）	時間
4	多職種連携による医療の提供①（共通）	30分
5	多職種連携による医療の提供②（共通）	31分
6	多職種の理解 リソースを確実に把握する（共通）	45分
7	多職種チームと情報共有（事例）（共通）	30分
8	多職種チームカンファレンスへの提案と活用（共通）	32分
9	多職種連携における役割（ML-2）	41分
10	多職種連携で実践するタスクシフト／シェア～業務効率化と治療・ケアの質向上を目指して～（共通）	40分
11	コミュニケーション（共通）	37分
12	コミュニケーション（ML-2）	41分
13	リーダーシップとフォロアーシップ（共通）	49分
14	リーダーシップ（ML-2）	43分
15	リーダーシップ（ML-3）	46分
16	リーダーシップ（ML-4）	42分
17	フォロアーシップ（ML-2）	52分
18	フォロアーシップ（ML-3）	46分
19	コーチングとメンタリング①（共通）	39分
20	コーチングとメンタリング②（共通）	28分
21	コーチングとメンタリング（ML-2）	35分
22	コーチングとメンタリング（ML-3）	35分
23	ファシリテーション（共通）	35分
24	ファシリテーション（ML-2）	37分
25	ファシリテーション（ML-3）	45分
26	ストレスマネジメント（共通）	36分
27	スタッフのストレスマネジメント支援（ML-2）	37分
28	スタッフのストレスマネジメント支援（ML-3）	42分
29	アンガーマネジメント①（共通）	48分
30	アンガーマネジメント②（共通）	37分
31	レジリエンス（共通）	46分
32	レジリエンスのスキル（ML-2）	51分
33	コンフリクトマネジメント（共通）	50分
34	コンフリクトマネジメント（ML-2）	42分
35	コンフリクトマネジメント（ML-3）	42分
36	コンフリクトマネジメント（ML-4）	38分
37	リフレクション（共通）	33分
38	リフレクション（ML-2）	31分
39	リフレクション（ML-3）	29分

円滑な人間関係を構築する能力 小計：37講義／24時間15分

3. 働きやすい職場をつくる能力

③多職種連携・人的資源の活用に該当

到達目標：看護要員が心身ともに健康かつ安全に働けるよう、自院における職場環境の現状と課題を分析した上で、改善に向けた具体策を提案・実践できる。

No	講義（eラーニングで提供）	時間
40	労働と法律（共通）	44分
41	看護職に関連した労働関係法規（共通）	51分
42	労務管理（ML-2）	44分
43	労務管理（ML-3）	43分
44	安全と労働衛生管理（共通）	48分
45	組織における安全を配慮した労働衛生管理の実践（ML-3）	36分

No	講義（eラーニングで提供）	時間
46	組織における安全を配慮した労働衛生管理の構築（ML-4）	37分
47	ワークライフバランス（共通）	27分
48	ワークライフバランス支援（ML-2）	32分
49	ワークライフバランス支援（ML-4）	36分
50	ワークエンゲージメント（共通）	37分
51	ワークエンゲージメントを高める支援（ML-2）	40分
52	ワークエンゲージメントを高める支援（ML-3）	46分
53	ワークエンゲージメントを高める支援（ML-4）	42分
54	ハラスメント①（共通）	56分
55	ハラスメント②（共通）	43分
56	ハラスメント③（共通）	45分
57	ハラスメント④（共通）	58分

働きやすい職場をつくる能力 小計：18講義／12時間45分

4. 学びを支援する能力

到達目標：看護要員の主体的学習を促進するために、自院における個々の成長課題を把握・分析した上で、適切な教育・支援方法を提案・実践できる。

No	講義（eラーニングで提供）	時間
58	ラーニングマネジメント①（共通）	44分
59	ラーニングマネジメント②（共通）	34分
60	ラーニングマネジメント（ML-2）	46分
61	ラーニングマネジメント（ML-3）	48分
62	ラーニングマネジメント（ML-4）	46分
63	リスキリング（共通）	45分
64	リスキリングを促進する方略（ML-2）	38分
65	クリニカルラダー評価と学習支援（生涯学習とクリニカルラダー）（共通）	34分
66	クリニカルラダー(CL)評価と学習支援（ML-2）	33分
67	研究プロセス（共通）	50分
68	研究プロセスの支援（ML-2）	46分
69	研究プロセスの支援（ML-3）	39分
70	キャリア開発支援（共通）	39分
71	キャリア開発支援（ML-2）	44分
72	キャリア開発支援（ML-3）	34分
73	キャリア開発支援（ML-4）	58分

学びを支援する能力 小計：16講義／11時間18分

5. 人的資源の育成と活用する能力

③多職種連携・人的資源の活用に該当

到達目標：看護要員の顕在・潜在能力を把握し、自院における育成および配置の課題を分析した上で、具体的な方策を提案・実践できる

No	講義（eラーニングで提供）	時間
74	人的資源管理（共通）	50分
75	看護補助者（共通）	37分
76	看護補助者の業務拡大と育成（ML-2）	37分
77	看護補助者の有効活用と適正配分（ML-3）	41分
78	看護補助者の獲得・活用戦略（ML-4）	38分
79	看護職の配置に関する諸制度（共通）	51分
80	スペシャリストの活用（共通）	42分
81	人事考課システム（共通）	46分
82	人事考課システムの構築（ML-4）	42分

No	講義（eラーニングで提供）	時間
83	タスクシフト・タスクシェアの概要（共通）	40分
84	ラダー別タスクシフト・シェアの推進（共通）	50分
85	タスクシフト・タスクシェアの具体策の提案（ML-2）	52分
86	タスクシフト・タスクシェアの調整（ML-3）	44分
87	タスクシフト・タスクシェアの方略の策定（ML-4）	37分
88	インタビュー（共通）	32分
89	インタビュースキル（ML-2）	42分
90	インタビュースキル（ML-3）	34分
91	インタビュースキル（ML-4）	42分

人的資源の育成と活用する能力 小計：18講義／12時間37分

6. 安全管理能力

②医療の質の確保・医療安全に該当

到達目標：看護対象者および看護職員の安全確保に向けて、自院におけるリスクを分析した上で、事故防止のための具体策を提案・実践できる。

No	講義（eラーニングで提供）	時間
92	リスク&セーフティマネジメント（共通）	49分
93	リスクマネジメント（ML-2）	45分
94	リスクマネジメント（ML-3）	40分
95	リスクマネジメント（ML-4）	44分
96	リスクテイキング（共通）	51分
97	リスクテイキング（ML-2）	48分
98	リスクテイキング（ML-4）	48分
99	クライシスマネジメント①（共通）	31分
100	クライシスマネジメント②（共通）	42分
101	エシックスマネジメント（共通）	37分
102	エシックスマネジメント（ML-2）	39分
103	エシックスマネジメント（ML-4）	40分
104	クレーム対応①（共通）	54分
105	クレーム対応②（共通）	46分
106	災害に関する法制度（共通）	35分
107	災害時におけるBCPの考え方（共通）	35分
108	発災時に求められる看護管理者の役割（共通）	35分
109	災害時の組織における体制と平時の備え（共通）	35分
110	地域・外部機関との連携（共通）	35分
111	発災直後の対応と意思決定（共通）	35分
112	災害復旧・復興に向けたマネジメント（共通）	35分
113	事故事例から学ぶ医療安全対策（共通）	59分
114	身体拘束最小化-総論（共通）	37分
115	組織で取り組む身体的拘束最小化チームづくり（共通）	38分
116	慢性疾患における急性増悪時の身体的拘束最小化の取り組み（共通）	31分
117	身体的拘束最小化に取り組む看護管理者の役割（共通）	36分
118	身体的拘束をしない組織文化～その人の尊厳を支えるケアの実現のために～（共通）	33分
119	患者の尊厳保持の重要性（共通）	36分

安全管理能力 小計：28講義／18時間49分

7. 経営・経済管理能力

①病院組織管理に該当

到達目標：経営・経済の視点から、自院の現状と課題を分析した上で、資源配分や業務改善に関する具体的な施策を提案・実践できる

No	講義（eラーニングで提供）	時間
120	医療・福祉制度（共通）	31分
121	医療・福祉制度（ML-2）	32分
122	保険医療制度と診療報酬①（共通）	48分
123	保険医療制度と診療報酬②（共通）	42分
124	診療報酬改定の考え方と概要（共通）	43分
125	急性期医療に関連する診療報酬改定（2026年度）のポイント（共通）	48分
126	病院経営・経済管理（共通）	55分
127	病院経営・経済管理（ML-2）	53分
128	病院経営・経済管理（ML-3）	48分
129	病院経営・経済管理（ML-4）	43分

経営・経済管理能力 小計：10講義／7時間23分

8. 組織管理・運営能力

①病院組織管理、④医療 DX を含む業務の効率化に該当

到達目標：組織目標の達成に向けて、自院の業務や体制の課題を整理・分析した上で、円滑な運営に資する具体的な改善策を提案・実践できる。

No	講義（eラーニングで提供）	時間
130	看護管理の定義と目的（共通）	40分
131	看護管理の歴史的変遷と意義①（共通）	49分
132	看護管理の歴史的変遷と意義②（共通）	54分
133	看護管理者の役割と意義（共通）	43分
134	看護管理プロセス①（共通）	48分
135	看護管理プロセス②（共通）	37分
136	多様な看護の場における看護管理者の活動（共通）	42分
137	看護管理者に必要な基本的リテラシー（共通）	53分
138	看護管理の課題と展望①（共通）	49分
139	看護管理の課題と展望②（共通）	33分
140	組織とマネジメントの基礎知識（共通）	68分
141	組織行動論の基礎知識と看護管理への応用①（共通）	54分
142	組織行動論の基礎知識と看護管理への応用②（共通）	39分
143	組織行動論の基礎知識と看護管理への応用③（共通）	40分
144	交渉と調整①（共通）	66分
145	交渉と調整②（共通）	61分
146	業務基準と職務規定（共通）	42分
147	組織管理・運営①（共通）	67分
148	組織管理・運営②（共通）	44分
149	組織管理・運営（ML-2）	48分
150	組織管理・運営（ML-3）	45分
151	組織管理・運営（ML-4）	43分
152	クリニカルガバナンス（ML-4）	37分
153	アカウントビリティ（ML-4）	50分
154	ステークホルダーのニーズへの対応（ML-4）	48分
155	看護部理念の創生（ML-4）	46分
156	仕事のプロセス改善と質管理（共通）	48分
157	仕事のプロセス改善と質管理（ML-2）	45分
158	仕事のプロセス改善と質管理（ML-3）	45分

No	講義（eラーニングで提供）	時間
159	仕事のプロセス改善と質管理（ML-4）	44分
160	看護ケアの評価指標（共通）	47分
161	看護記録の質の保証（共通）	38分
162	情報管理（共通）	51分
163	個人情報の管理（共通）	44分
164	デジタルトランスフォーメーション（共通）	44分
165	デジタルトランスフォーメーションの構築（ML-4）	45分
166	プロジェクト管理（共通）	41分
167	プロジェクト管理（ML-2）	41分
168	プロジェクト管理（ML-3）	42分
169	プロジェクト管理（ML-4）	43分
170	事業計画（共通）	46分
171	ラダー別事業計画作成ポイント（共通）	47分
172	事業計画の作成と評価（ML-2）	31分
173	事業計画の作成と評価（ML-3）	30分
174	事業計画の作成と評価（ML-4）	29分
175	外部政策情報（共通）	26分
176	外部政策情報等の理解（ML-3）	31分
177	外部政策情報等の活用（ML-4）	27分
178	地域医療連携（共通）	38分
179	地域医療連携（ML-2）	38分
180	地域医療連携（ML-4）	42分
181	医療制度・政策および看護に関する諸制度と看護管理の関係性（共通）	54分
182	政策実現プロセスの基本と看護管理者の役割（共通）	38分
183	制度改革と看護管理への影響（共通）	52分
184	制度変化への対応と戦略的看護管理（共通）	63分
185	地域包括ケアシステムと看護部門のマネジメント（共通）	58分
186	実践例から学ぶ看護管理への制度の活用①（共通）	47分
187	実践例から学ぶ看護管理への制度の活用②（共通）	51分
188	組織変革の必要性（共通）	57分
189	変革のフレームワーク①（共通）	46分
190	変革のフレームワーク②（共通）	33分
191	看護を取り巻く動向①（共通）	51分
192	看護を取り巻く動向②（共通）	37分
193	地域のニーズに合わせたサービスを創造するために必要な知識（共通）	47分
194	地域サービス創造の方法と事例①（共通）	40分
195	地域サービス創造の方法と事例②（共通）	35分
196	DXとキャリア形成①（共通）	30分
197	DXとキャリア形成②（共通）	30分
198	DXを含む業務の効率化①（共通）	30分
199	DXを含む業務の効率化②（共通）	30分
200	AIの活用①（共通）	30分
201	AIの活用②（共通）	30分
202	急性期施設の看護管理概論①（共通）	30分
203	急性期施設の看護管理概論②（共通）	30分

組織管理・運営能力 小計：74講義／53時間18分

9. イノベーションとデザイン能力

到達目標：自院の課題を踏まえ現状を分析した上で、新たな価値創出や業務改革に向けた具体的な施策を構想し、提案・実践できる。

No	講義（eラーニングで提供）	時間
204	ロジカルシンキング（共通）	47分
205	概念化と抽象化①（共通）	51分
206	概念化と抽象化②（共通）	43分
207	帰納的思考と演繹的思考（共通）	45分
208	クリティカルシンキング（共通）	50分
209	クリティカルシンキング（ML-2）	41分
210	問題解決思考（共通）	52分
211	問題解決思考（ML-2）	38分
212	インテグレーティブシンキング（共通）	40分
213	インテグレーティブシンキング（ML-2）	52分
214	インテグレーティブシンキング（ML-3）	40分
215	インテグレーティブシンキング（ML-4）	38分
216	ナレッジマネジメント①（共通）	57分
217	ナレッジマネジメント②（共通）	31分
218	組織分析と評価①（共通）	57分
219	組織分析と評価②（共通）	47分
220	組織分析と評価（ML-2）	44分
221	組織分析と評価（ML-3）	46分
222	組織分析と評価（ML-4）	49分
223	指標分析と見える化（ML-2）	44分
224	指標分析と見える化（ML-3）	40分
225	文書作成（共通）	45分
226	文書作成（ML-2）	38分
227	文書作成（ML-3）	37分
228	政策提言（ML-4）	30分
229	ブランディングを高める方略の提案（ML-3）	41分
230	ブランディングを高める方略の提案（ML-4）	58分
231	マグネットホスピタルの構築（ML-4）	43分

イノベーションとデザイン能力 小計：28講義／20時間44分

課題研究・オンライン演習

課題研究（8時間）

講義で学んだ内容を踏まえ、以下の4つの課題について、自院の状況を踏まえた現状整理・課題抽出・対応方針をレポートとして提出する。指導・フィードバックを行う。

① 病院組織管理 ② 医療の質の確保・医療安全 ③ 多職種連携・人的資源の活用 ④ 医療DXを含む業務の効率化

オンライン演習（16時間）

課題研究で提出したレポートをもとに、中間・期末の2回（各8時間）を実施する。ケーススタディ、グループディスカッション、管理判断シミュレーションを通じて、急性期病院の看護管理者として必要な実践的能力の向上を図る。

急性期病院看護管理者研修 シラバス

主催：公益社団法人 全日本病院協会 ／ 制作・運営：ヴェクソンインターナショナル株式会社（S-QUE研究会事業部）

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 御茶ノ水ソラシティアカデミア5F TEL：0120-128-774 E-mail：support@s-que.net URL：https://s-que.net

講師一覧

※ 敬称略

講師名	所属
神野 正博	全日本病院協会 会長／社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長
猪口 正孝	全日本病院協会 副会長／社会医療法人社団正志会 理事長
勝 博史	東京都立多摩総合医療センター（副院長／看護部長）
宇都宮 明美	関西医科大学 クリティカルケア看護学領域（教授）
立野 淳子	日本赤十字九州国際看護大学（准教授）／急性・重症患者看護専門看護師
上澤 弘美	総合病院 土浦協同病院／急性・重症患者看護専門看護師
竹之内 俊	高中法律事務所（弁護士）
濱本 実也	公立陶生病院（看護第三部長）／集中ケア認定看護師
米倉 修司	社会医療法人 きつこう会 多根総合病院（副看護部長）／集中ケア認定看護師
櫻本 秀明	近畿大学医学部・病院運営本部 看護学部設置準備室
西村 祐枝	岡山市立市民病院 看護部（副看護部長）／急性・重症患者看護専門看護師
箕浦 洋子	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学（特任教授）
福家 寛樹	公立陶生病院（看護師長）
荒井 有美	北里大学病院 医療安全推進室（副室長／看護師長）
加藤 雅江	杏林大学 保健学部健康福祉学科（教授）
藤野 智子	聖マリアンナ医科大学病院 看護部（看護師長）／急性・重症患者看護専門看護師／集中ケア認定看護師
木下 佳子	日本鋼管病院（副院長兼看護部長）
川添 高志	ケアプロ株式会社（代表取締役）
藤野 泰平	株式会社デザインケア／みんなのかかりつけ訪問看護ステーション（代表取締役）
露木 菜緒	ヴェクソンインターナショナル株式会社／集中ケア認定看護師
道又 元裕	元・杏林大学医学部付属病院（看護部長）／ヴェクソンインターナショナル株式会社 看護企画部（部長）
三上 剛人	吉田学園医療歯科専門学校（副校長、シミュレーションセンター長）

※ 上記のほか、各領域の専門講師等が登壇します。